

持続可能性に関わる諸要素の関係整理について

1. 要素関係図の内容

- ・ 第2回～第5回検討会における各委員の先生方の御発表をもとに、各分野の問題や原因・結果等の各種要素の関連を示したもの。
- ・ 環境の悪化・保全といった方向性は敢えて示さず、主要な問題要素と原因・結果等の関係を中心に表現している。
- ・ 御発表の内容ごとに作成したものであり、持続可能な社会ビジョンの検討という観点からは、必ずしも必要な分野を網羅している訳ではない。
- ・ 事務局がたたき台作成の後、先生方にコメントをいただき修正した。今後も適宜修正を行う。

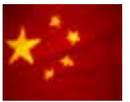
御発表			分野
A2	明日香壽川	第4回検討会	中国・温暖化・国際協力
A3	山本 博一	第3回検討会	森林資源
A4	花木 啓祐	第3回検討会	都市
B1	太田 宏	第4回検討会	国際政治
B2	西岡 秀三	第4回検討会	気候変化
B3	広井 良典	第5回検討会	持続可能な福祉社会
B4	細田 衛士	第4回検討会	経済と環境
C1	柴田 康行	第5回検討会	化学物質
C2	沖 大幹	第2回検討会	水資源
C4	川島 博之	第2回検討会	食料
D1	若林 敬子	第5回検討会	人口
D2	湯原 哲夫	第3回検討会	エネルギー
D3	湯本 貴和	第2回検討会	生物多様性
D4	森口 祐一	第5回検討会	廃棄物・循環型社会

(敬称略、記号は合宿グループ分けに対応させたもの)

2. 合宿及び今後の作業における位置付け

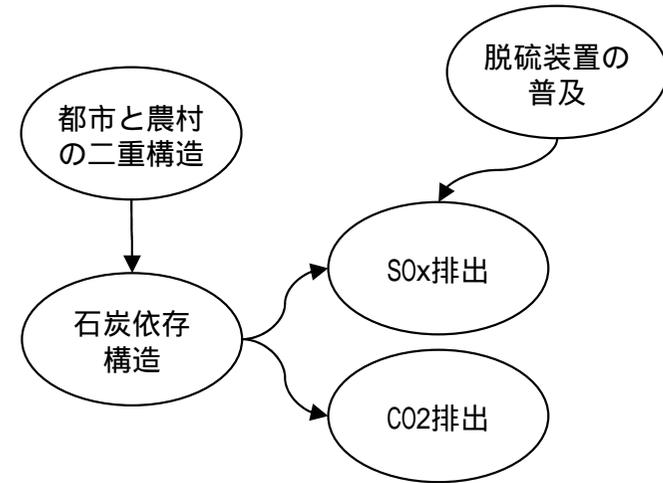
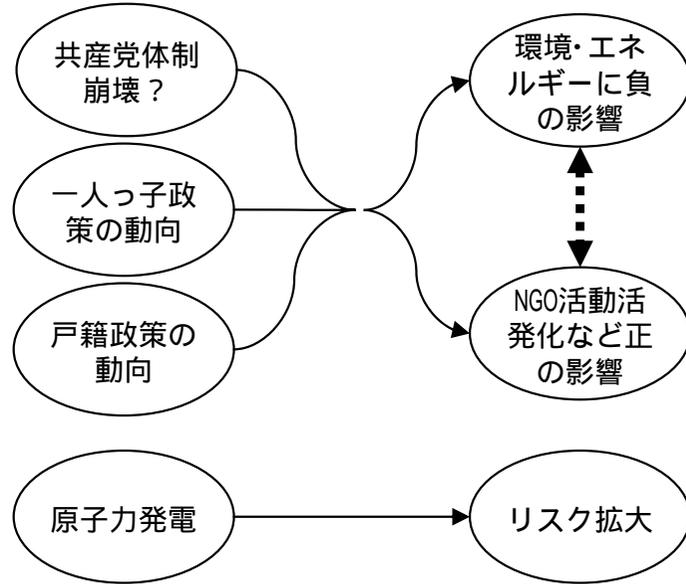
- ・ 2007年1月の合宿において、持続可能な社会において各分野がどうあるべきか、またどのようにそれを実現していくかの検討材料として活用する。
- ・ 合宿のひとつのアウトプットとして、全分野を網羅した要素関係図を作成する。そのため、合宿までに、完成形のイメージ作成及び追加・整理すべき分野の抽出を行う。

(資料2参照)

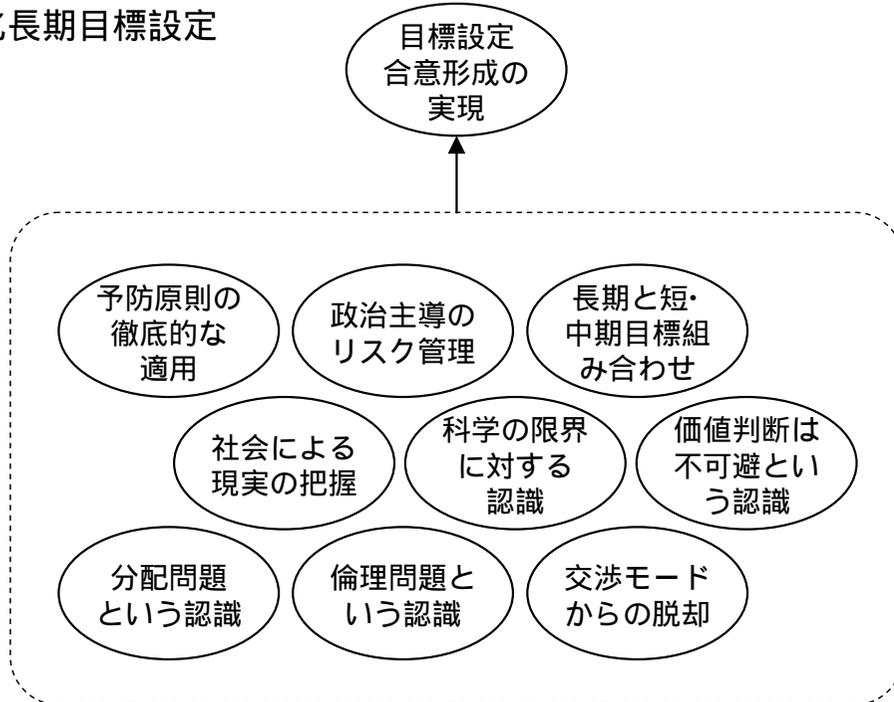


A,2

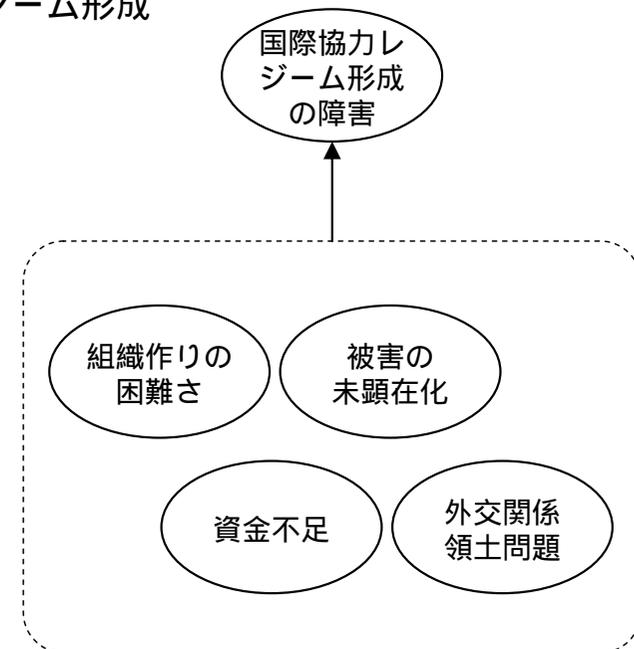
20年後の中国



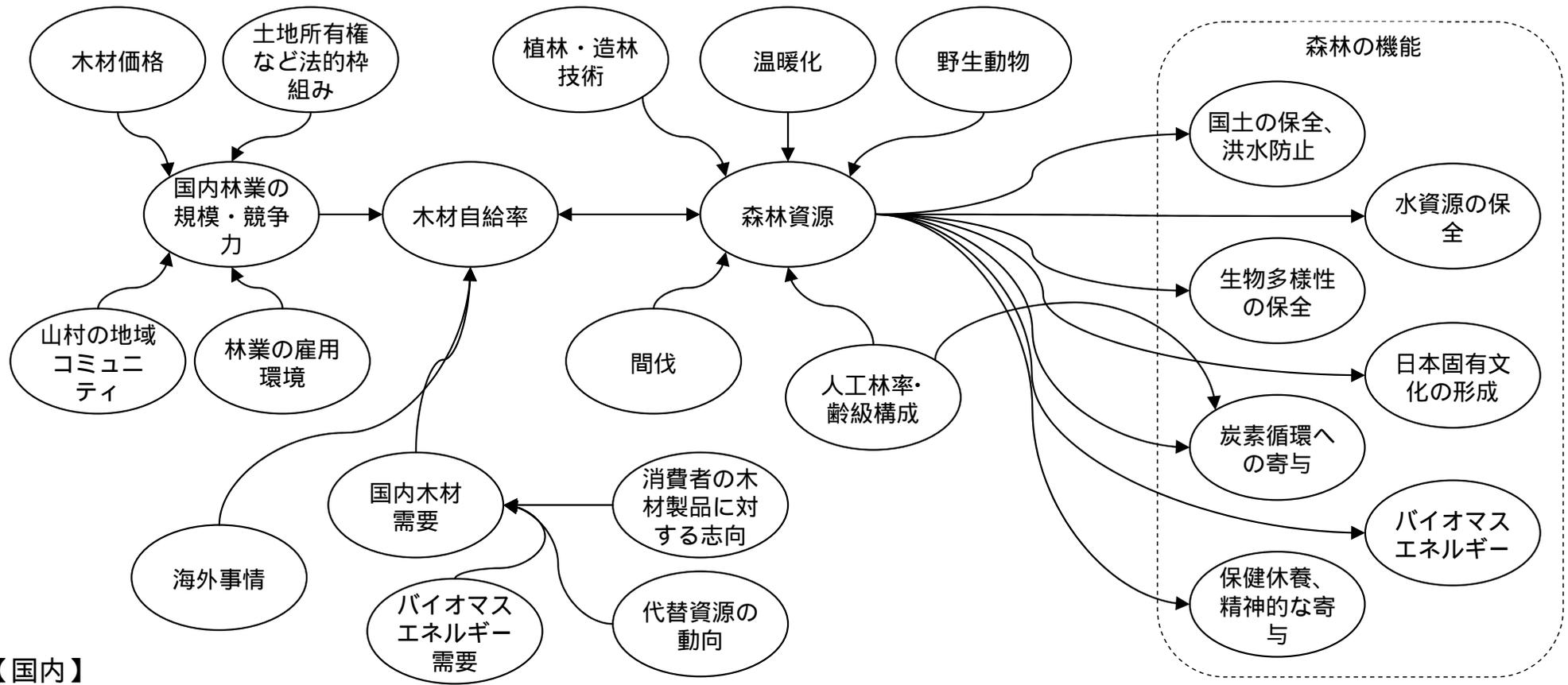
温暖化長期目標設定



国際協力レジーム形成

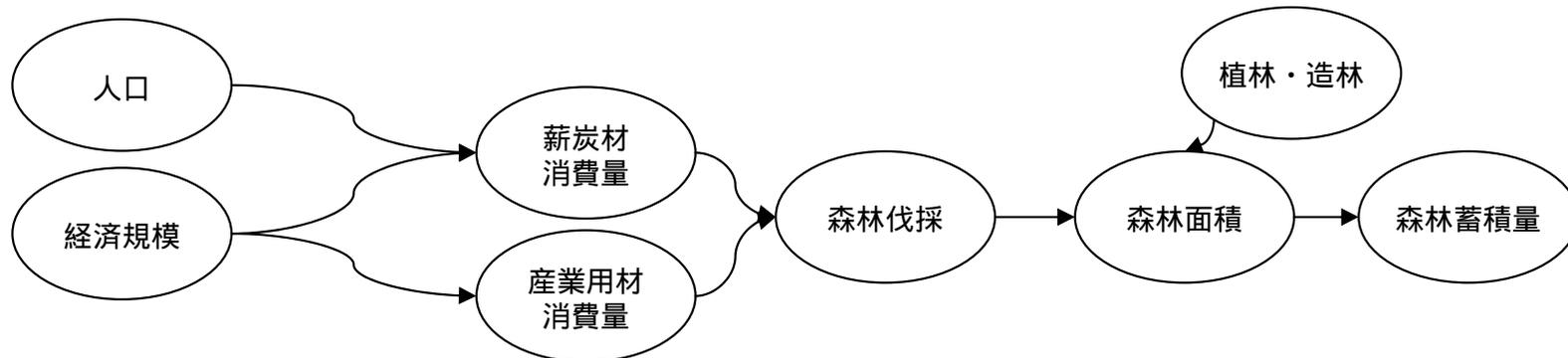


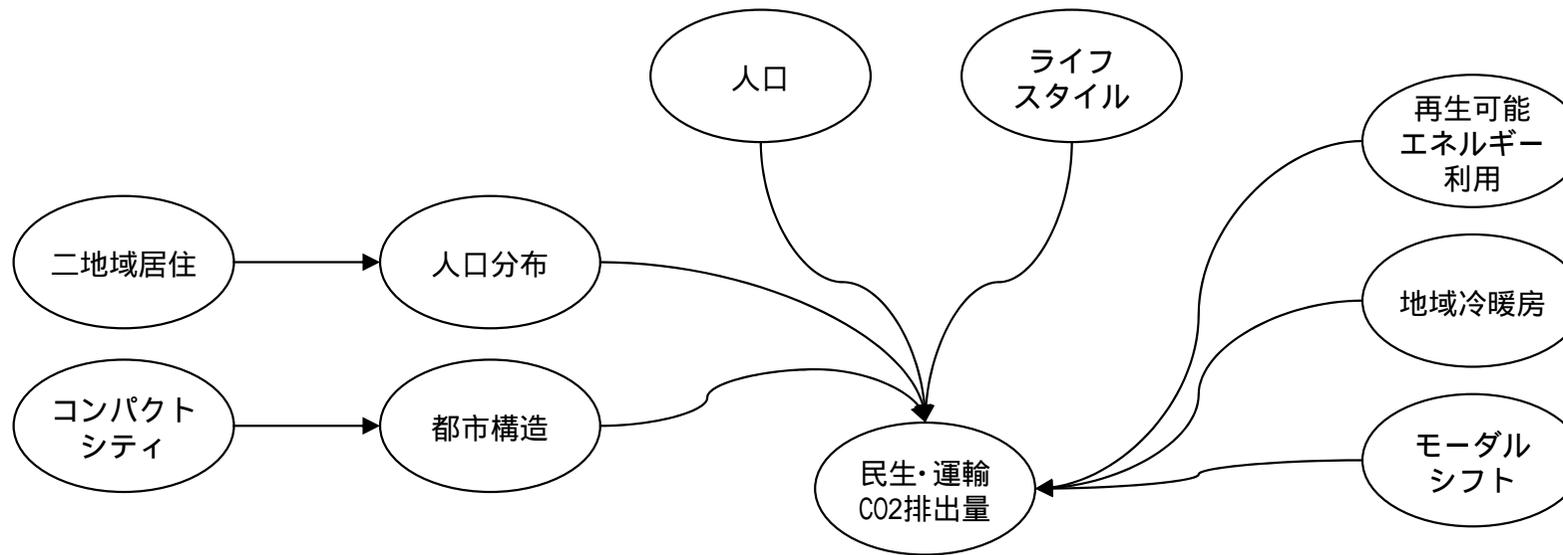
森林資源



【国内】

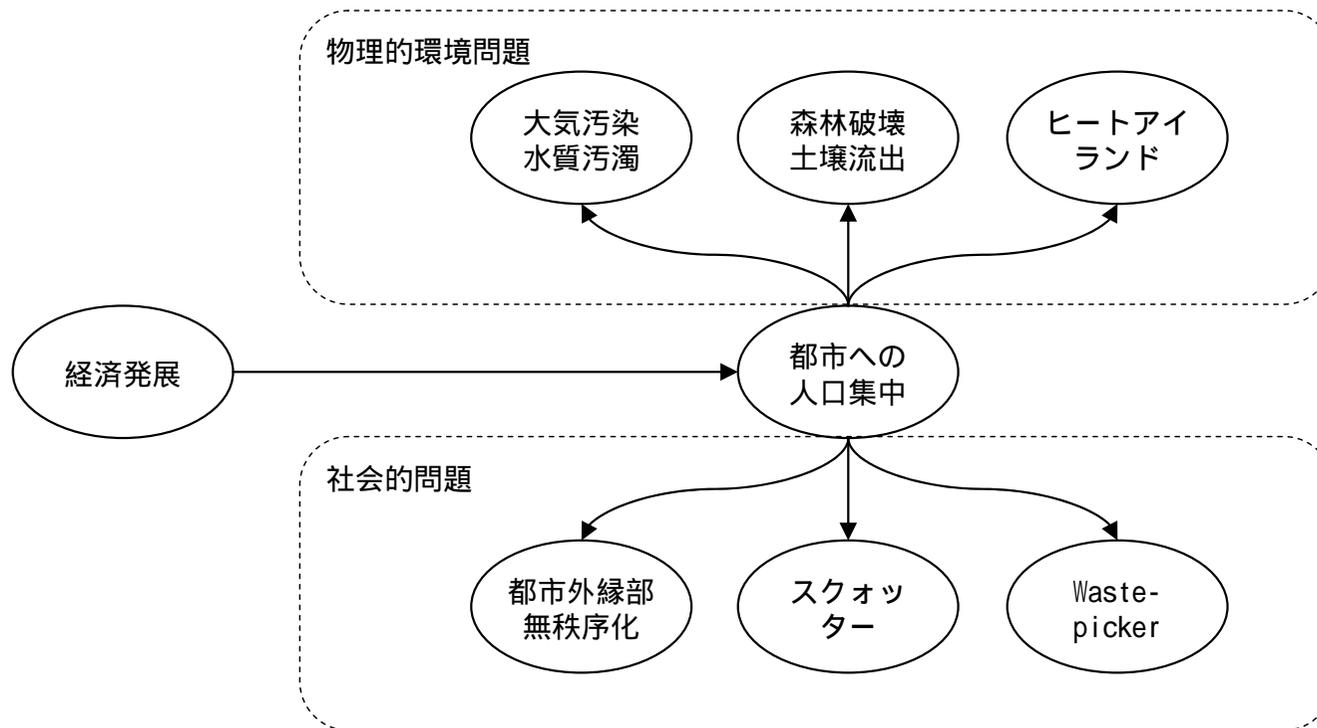
【世界】





【国内】

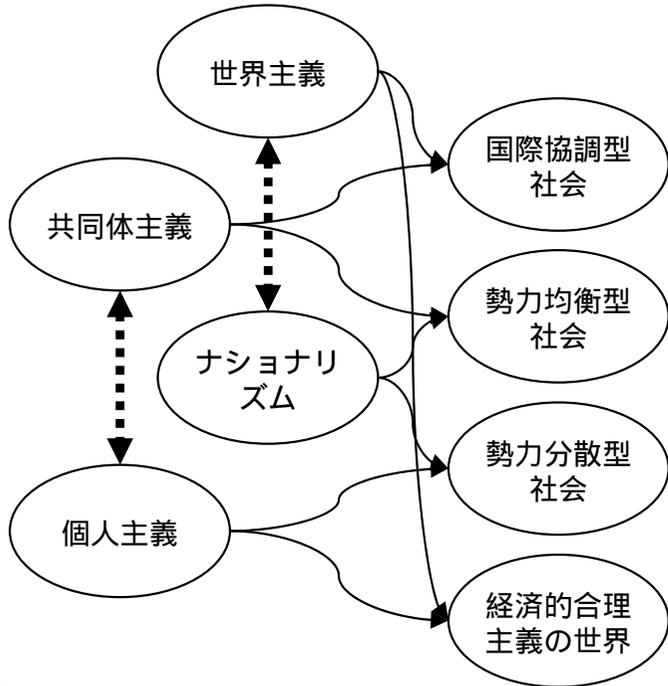
【世界】



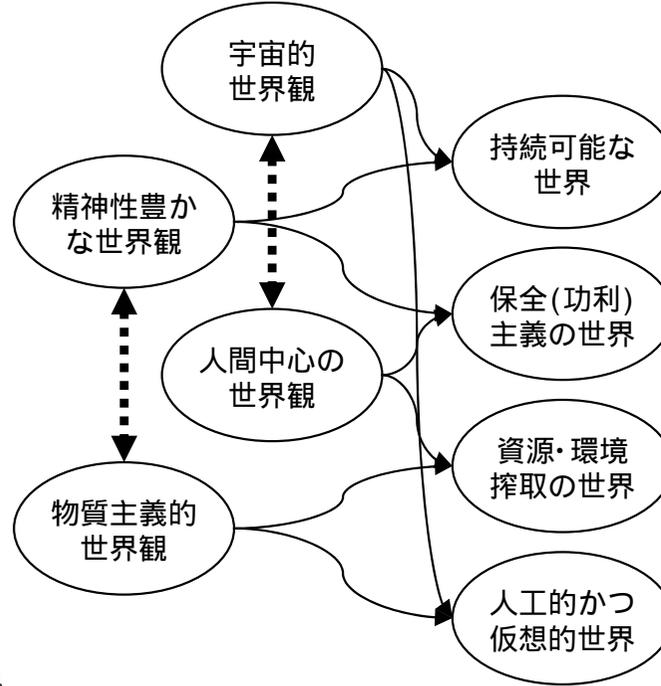
国際政治



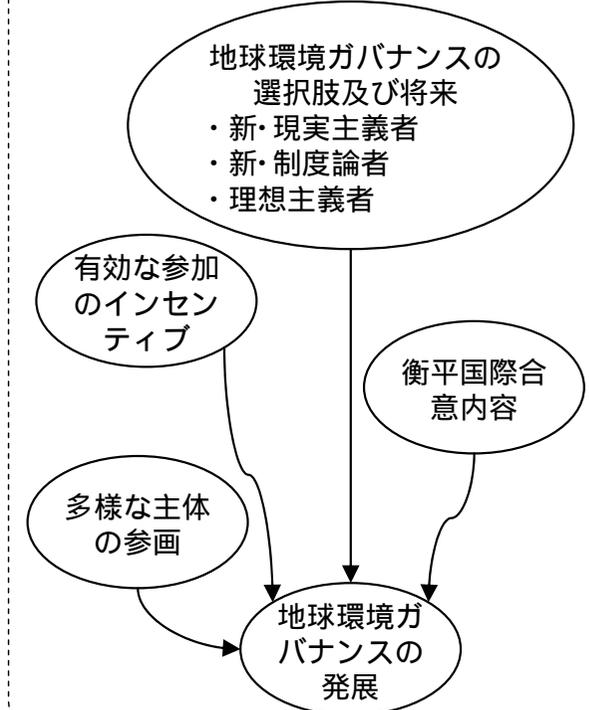
国際政治変動パラダイム



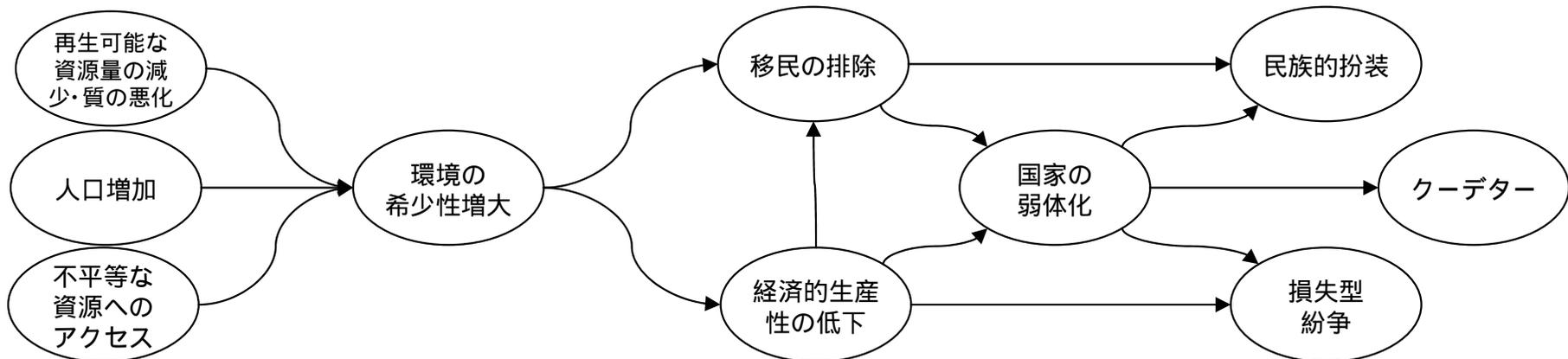
世界観と世界の持続可能性



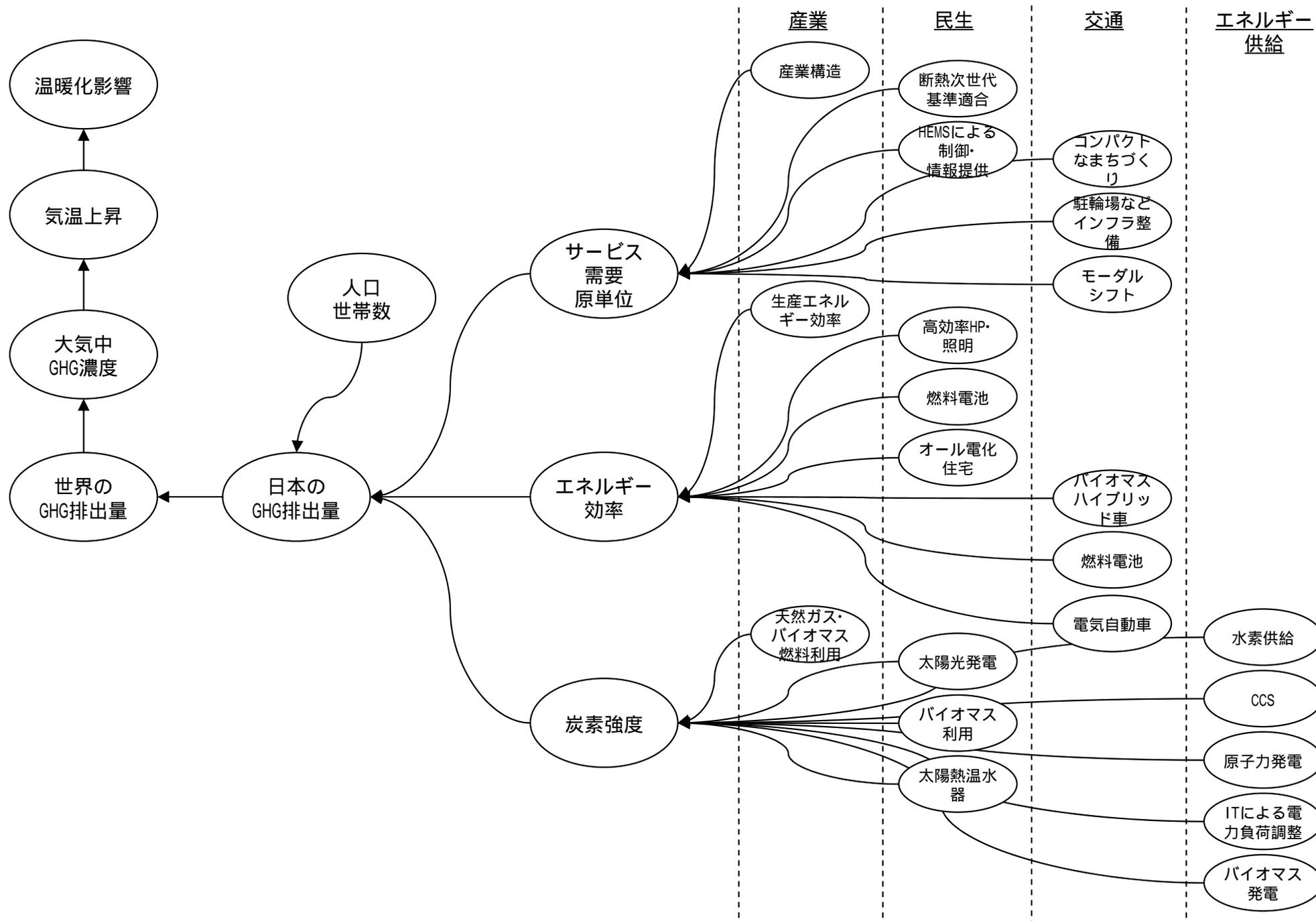
地球環境ガバナンス



環境変化と暴力的紛争



気候変化



持続可能性な福祉社会



B,3

